

同志社大学

新島塾

を覗いて

みませんか。

応募フォーム



「合宿で鍛える知的基礎体力」

学部 1 年次生 体験参加 募集

[期 間]

2025 年 9 月 4 日（木）～9 月 7 日（日）

[会 場]

滋賀県大津市北小松 179

同志社びわこリトリートセンター



同志社大学新島塾 合宿で鍛える知的基礎体力

[新島塾とは]

同志社大学は、我が校の門をくぐった皆さんが、校祖新島の精神を継承し、リーダーシップとフォロアーシップを兼ね備えた人材として社会の様々な分野で活躍されることを願い、「同志社大学新島塾」を2019年度に開塾しました。

新島塾では、正課の授業での学習に留まらず、学ぶ意欲と能力を可能な限り伸ばしたいと考える学部2年次・3年次生が新島塾塾生として、学部の垣根を越え共に切磋琢磨しています。



皆さんは、同志社の徽章の由来をご存知ですか。正三角形を3つ寄せたこのマークは、国あるいは土を意味するアッシリア文字『ムツウ』を図案化したものです。考案者の湯浅半月は、同志社が生んだ詩人（代表作『十二の石塚』）であり古代オリエント学者でもありました。制定された当時、半月は同志社神学校教授でした。制定以来、知・徳・体の三位一体あるいは調和を目指す同志社の教育理念をあらわすものと解釈されています。

新島塾は、知識や技法の伝達だけではなく、人間的信頼関係を構築する同志社大学の教育的伝統に基づき、「書を読み、友人や先生と語り、仲間と協働する価値を学ぶ」をコンセプトに据え、多彩な講師陣により、次の3つのオリジナルプログラムを実施しています。

1.「リーダーシップ論・ワークショップ」

「リーダーシップとはいったい何か。リーダーとはどのような人なのか。リーダーに必要な素養や能力はいったい何なのか。」これらに明確なただ一つの解があるわけではありません。リーダーシップとは何かを学び、自分にふさわしいリーダーシップスタイルを構想します。チームはどうあるべきで、自分はその一員としてどう考え、どう行動すべきかを理論と実践から学びます。

2.「読書から始まる知の探究」

春期、秋期に課題図書を読み、あらかじめ指定された読書後の活動（課題図書のテーマに関するディベートやフィールドワーク等）を通して取り上げられる問題を考察、探究し、幅広い教養や論理的思考力の獲得、社会的視野の拡大と意欲の醸成、豊かな感性を育みます。

3.「合宿で鍛える知的基礎体力」

日常生活から離れて塾生や講師と時間・空間を共有して語り、仲間と協働する価値を学ぶことに集中します。事前に合宿のテーマに関連する課題図書を読み込み、合宿中は担当教員による講義の受講と確認小テストを繰り返します。また、事後レポートの作成や討論によって、専門分野に留まらない学知の必要性を思い知るとともに、複雑な社会情勢を読み解くための基礎力を培います。

体験参加を募集するプログラムは 3.「合宿で鍛える知的基礎体力」です。

[合宿の概要とねらい]

新島塾は、必修プログラム「合宿で鍛える知的基礎体力」として、3泊4日の集中講義を同志社びわこリトリートセンター（滋賀県大津市）で行います。合宿では、塾生が社会を支える世代となり、様々な分野で指導的立場におかれているであろう「2040年頃の時代でも通用する普遍的な学力は何かを知り、それをいかに獲得すればよいか」を学びます。

2025年合宿のテーマは、「正義と良心 ー対立・分断する世界の中でー」です。国際情勢が大きく変化し、複数性の正義により対立・分断された世界を日々目の当たりにする中で、「正義とはなにか」ということを考える機会が多々あるのではないのでしょうか。同志社の標榜する「良心」と「正義」を結びつけるものはなにか、いまなぜそれが社会で求められるのかを捉えるために、身近なものから国際政治に至るまで多面的な正義を扱い、現代社会で直面する複雑な正義の本質を洞察します。

今年度は、元東京地方検察庁特捜部副部長の西村尚芳さん、作家の北原みのりさんを講師にお招きします。様々な立場から見た正義を学ぶことにより、自身が何を正義だと考えているかを俯瞰的に捉え直し、今必要な正義のあり方を構想する方法について講義と議論から考えます。

さらに、これからの時代に直面する様々な課題を解決に導くためには、最新の科学技術の活用が必要不可欠といえます。科学技術は、社会の発展に大きな影響を与えるものであると同時に、それらを活用する者の「良心」が問われます。世界が抱える多くの問題を解決するために必要となる「正義と良心」とはなにか。理系学問の観点から多角的に捉え、考察します。

合宿参加者は、文系・理系の特定分野に偏ることなく幅広く学びます。一見すると別のテーマである事柄が実は相互に関連していることに気付き、なぜ学問と向き合い探究することが重要なのか十分に理解します。そして、学知の基礎をどのように獲得するか具体的な学習方法を身に付けます。

[講師陣]

小原 克博	新島塾塾長、神学部教授、学長
佐藤 優	同志社大学特別顧問（東京担当）、作家、元外交官
西村 尚芳	元東京地方検察庁特捜部副部長
北原 みのり	作家
後藤 琢也	新島塾コーディネーター、理工学部教授、副学長
宿久 洋	文化情報学部教授、高等研究教育院所長
多久和 英樹	理工学部教授

[体験参加の募集]

新島塾は、学部1年次生を対象に「合宿で鍛える知的基礎体力」の体験参加者を募集します。体験参加した学部1年次生が新島塾塾生の切磋琢磨する姿に刺激を受け、同志社大学新島塾への関心や意欲を高め、次年度に塾生として新島塾の門を叩くことを期待しています。

[募集人数]

10名を上限とします。応募者多数の場合、新島塾において抽選を行います。
結果は、応募者本人にメールで連絡します。

[会場]

〒520-0501 滋賀県大津市北小松 179 同志社びわこリトリートセンター

[合宿の日程] タイムテーブルは7ページを参照してください。

2025年9月4日(木)12:00～9月7日(日)15:00

[合宿の進め方(概要)]

合宿ではセッション全体を通し、ひとつの事象であっても、別の観点、視点から捉えると全く別の見え方をすることを講義と演習から学びます。このように様々なテーマから幅広く学び、理解を深めることで、人文・社会科学の「知」と自然科学の「知」の融合による「総合知」の獲得を目指します。

合宿中は、各テーマに関する講義を受け、質疑応答や確認の小テストを繰り返し行います。また、グループワークや討議なども随所に織り交ぜます。参加者は、各セッションでほかの塾生や講師と議論し、意見を交わすことでより理解を深めます。

[合宿までの事前学習]

塾生同士が協力して課題図書の内容理解に努め、塾生間で習熟度の差異が生じることなく、合宿を実り多いものにするを目的に、塾生及び体験参加学生で数名のグループを構成し、「課題図書の輪読」を行います。輪読をする課題図書は、『正義論(ジョン・ロールズ)』です。輪読の詳細は、別途案内します。

課題図書を読んでいなければ、合宿の講義やディスカッション等に主体的に参加することができません。課題図書をただ読むだけでも不十分です。課題図書の内容を理解したうえで、他の参加者対等に議論や質問をできる知識、そして自分の意見や積極的な姿勢が必要です。それでなければ、合宿で行われる高度な議論を理解することはできません。

[課題図書(合宿のテキスト)]

1. ジョン・ロールズ『正義論』紀伊國屋書店、2010年
2. 北原みのり、佐藤優『性と国家』河出書房新社、2016年
3. 大前研一『日本の論点 2025～26』プレジデント社、2024年
4. トマ・ピケティ、マイケル・サンデル『平等について、いま話したいこと』早川書房、2025年
5. スティーヴン・J. グールド『人間の測りまちがい: 差別の科学史(上・下)』河出文庫、2008年
6. アルバート・アインシュタイン『科学者と世界平和』講談社、2018年

※前半「科学者と世界平和」のみ

[合宿の進め方(詳細)]

1) セッション1 塾長との対話・討論

「正義と良心 ー対立・分断する世界の中でー」

このセッションは、講演会や和気あいあいとした雰囲気づくりを行うためのイントロダクションではありません。塾長が、合宿を実施する目的や、新島塾生に寄せられている期待、求められるリーダーシップ像とはどのようなものか、後に続くセッションと深く関連する内容で話します。そこに込められた塾長の考えや想いを直接聞き、4 日間にわたる合宿に挑むため意識の転換、切り替えを行います。

途中で随時、塾長や佐藤先生と直接対話、討議を交えます。塾生は、「自分はなぜ新島塾で学び、何のために合宿に参加しているのか、この合宿で何を心得て帰るのか」その意義と目的を再確認し、参画意識を高めてください。学生生活において、新島塾以外の場で塾長や佐藤先生と直接対話できる機会は滅多にありません。参加者には、ただ漫然と聴講することなく、この貴重な機会に自身の意見や質問を積極的に発言し、このセッションに「参画」することが求められます。

2) セッション2から7のキーワード

複数性の正義と良心。国家と市民。多様性。科学と良心。

3) セッション8 総括と対話

講師から4日間の成果について講評を得て、合宿を振り返ります。合宿の総括として、塾生は学知の基礎をどのように獲得するか、将来の目標も加味して具体的な学習方法を設定します。

4) 合宿中の課題

合宿期間中は毎日課題が課され、講師からの指示に沿って作成します。課題は個人またはグループで取り組みます。講義内容をもとに与えられたテーマに対し、自身の考えを限られた時間内で書く訓練や、グループで期日までに成果を出す訓練を行います。課題は当日中に事務局に提出します。講師陣はその理解度をチェックし、翌日までに返却します。そのフィードバックによって、塾生は自身の理解をさらに深めます。

5) 礼拝

日曜朝の心やすらかなひとときにキリスト教主義学校である同志社大学と創立者新島襄の精神に触れます。内なる自分と向き合い対話し、心を整える時間とします。ここでは、自分が同志社大学で学ぶ意義とその価値を改めて考え、自分を見つめ直します。

[募集期間と応募方法]

2025 年 6 月 2 日(月) ～ 6 月 13 日(金) 15:00 締切

Microsoft Forms に必要事項を入力してください。



[合宿会場]

〒520-0501 滋賀県大津市北小松 179 同志社びわこリトリートセンター

<https://www.doshisha.ac.jp/retreat/access/access.html>

京都駅より JR 湖西線 北小松駅まで普通電車で約 45 分、新快速で約 35 分

北小松駅下車後、びわこリトリートセンターまではシャトルバスで送迎します。

[備 考]

- 合宿の参加費は無料です。ただし、自宅から JR 湖西線北小松駅までの往復交通費は参加者の負担とします。また、北小松駅とびわこリトリートセンター間は、安全面の配慮からシャトルバスに乗車します。
- Zoom 事前学習や合宿で用いる課題図書・参考図書は、各自で購入してください。書籍購入の事実が分かる領収証やレシートの原本(コピー不可)と引き換えに、実費を後日返却します。書店の店頭で購入することを勧めます。
- 9 月に行う合宿は、宿泊を伴う 3 泊 4 日です。宿泊に必要な用具(着替え、洗面用具、バスタオル類)は各自持参してください。1 日だけの参加や途中からなど、部分参加はできません。
- 9 月に行う合宿は、Zoom 等のオンライン環境では実施しません。
- 9 月に行う合宿には、新島塾の修了生数名がチューターとして参加予定です。
- 「同志社大学新島塾 合宿で鍛える知的基礎体力」の様子は、写真および動画撮影を行い、オフィシャル Web サイトや印刷物、公式 SNS などの媒体に掲載することがあります。
- 体験参加申込時に入力した個人情報(学生 ID・氏名・メールアドレス)は、新島塾が行う各種プログラムや塾生募集、今後の改善のためのアンケートやヒアリングなどの案内に利用し、目的外の利用はしません。なお、個人が特定されないよう統計処理した個人情報は、大学が調査資料として利用します。また、取得した個人情報は、同意を得ず第三者に提供しません。
- その他必要な事項は、体験参加者に別途案内します。

[その他]

- 発熱や倦怠感、のどの痛みなど通常と異なる身体症状がある場合、事務局に連絡し、欠席してください。決して無理に参加しないでください。
- 合宿中に発熱などの体調不良者が出た場合、合宿を急遽中止することがあります。

2025 年度合宿で鍛える知的基礎体力 タイムテーブル

		12:00		13:00		15:30		18:00		19:00		22:00	
9月4日 (木)	JR 北小松駅集合 京都駅 9:48 発→北小松駅 10:19 着 京都駅 10:45 発→北小松駅 11:18 着			集合後 昼食		【1】150 分 塾長 「正義と良心ー対立・分 断する世界の中で-」		休 憩	【2】150 分 西村先生（ゲスト講師）		夕 食	課題 A (提出期限 22 時) 【1】 【2】 それぞ れ別の課題	
7:30		9:00		12:00		13:00	14:00	14:30	18:00		19:00	22:00	
9月5日 (金)	朝 食		【3】240 分 佐藤先生 西村先生（ゲスト講師）			昼 食		休 憩	【4】210 分 北原先生（ゲスト講師）		夕 食	課題 B (提出期限 22 時) 【4】北原先生の課題	
7:30		9:00		12:00		13:00	14:00	14:30	18:00		19:00	22:00	
9月6日 (土)	朝 食		【5】240 分 佐藤先生 北原先生（ゲスト講師）			昼 食		休 憩	【6】210 分 多久和先生・後藤先生 「科学における正義と良心」		夕 食	課題 C (提出期限 22 時)	
7:30		8:30	9:30	11:30		12:30	14:30		15:15				
9月7日 (日)	朝 食	礼 拝		【7】120 分 宿久先生 「科学における正義と良心 ー統計学の光と影ー」			昼 食	【8】120 分 佐藤先生 「総括と対話」 ジョン・ロールズの総括を 各チーム(輪読班)で成果発表		撤 収	JR 北小松駅まで移動 北小松駅 16:26 発 →京都駅 16:57 着		



同志社大学高等研究教育院事務局

(同志社大学新島塾事務局)

電話:075-251-3259

メール:ji-njyuk@mail.doshisha.ac.jp

新島塾 HP

<https://next.doshisha.ac.jp/>

